

動物園だより

(題字 京都市長 門川大作)

No.149

平成21年7月1日発行

類人猿舎 リニューアル!!

チンパンジー・サンクチュアリ・宇土から
新しく仲間入りしました~



タカシ♂



ヨウコ♀



スズミ♀



コイコ♀

どうぶつのお面

モデルは「スズミ」です!
初回限定390円です!!



『4月18日オープンセレモニーを行いました。』



『プリズムタワー』



『タワーの高さは9m!
てっぺんの眺めはどうか?』

できごと

新しい仲間



名前は『リョウ』と言います。
皆さんよろしくね!

★千葉市動物公園からグレビーシマウマのオスがやって来ました。

『4月12日撮影』



★3月29日ワオキツネザルにオスの赤ちゃんが産まれました。『スグリ』と名付けられ、元気いっぱいです。

誕生!



『4月7日撮影』

★4月4日マンドリルにメスの赤ちゃんが産まれました。香らんまんの頃に産まれたので『らんまん』と名付けられました。

★5月22日に産まれた、フサオマキザルの赤ちゃん、風薫る季節にちなんで『カヲル』と名付けられました。

『5月29日撮影』



安らかに

★4月4日エゾヒグマのキサブノウ(オス・25歳)が肺炎のため死亡しました。

★4月16日レッサーパンダのコズエ(メス・17歳)が老衰のため死亡しました。



★5月22日ホッキョクグマのポール(オス・34歳)が肝不全により死亡しました。日本一長寿のホッキョクグマとして、功労動物表彰されるなど、永年動物園の人気者として親しまれていただけに

残念です...



旅立ち!

★アミメキリンのリウオウが6月1日、千葉市動物公園へ旅立ちました。新天地でも人気者になってくれることを願っています。



寄付のお知らせ



ありがとうございました

並木グループ様から、桜の木をいただきました。
国際ソロブテミスト京都様から、案内サイン塔をいただきました。

東門出入口開設!!地下鉄蹴上駅から「徒歩5分」!!

チンパンジーがやって来た!!

まずは今回来園した、4人のチンパンジーを紹介します。

群れ唯一のオス、タカシです！



1988年4月30日

チンパンジー・サンクチュアリ
・宇土(CSU)生まれ

大変ハンサムで慎重な性格です。メスに対しても、飼育員に対しても大変温厚なのですが、恐がりなので、言いようによってはちょっと頼りない？って感じです。

最年長のメス、コイコさんです～



1977年(推定)
アフリカ生まれ

CSUで3人の子育てをした経験を持っています。ちょっとおすまし屋さんな性格ですが、最近はヨウコとよく遊んでいます。蜜ツリを根気よく続ける努力家です。

群れの中堅のメス、ヨウコです！



1989年1月3日
CSU生まれ

食べ物に対する執着心が人一倍強く、食い意地が強っており、そのためちょっと太り気味で、ただいまダイエット中です。艶やかな毛並みが自慢です。

最年少のメス、スズミです！



1996年8月25日
CSU生まれ

パッチリした目で、はっきりした顔立ちの美人です。好奇心旺盛なおてんば娘ですが、幼少期に人工保育で育ったためか、ナーバスな一面も持っています。スレンダーで抜群の身体能力を持っています。

チンパンジー・ サンクチュアリ・ 宇土(熊本)

京都市動物園

道中記

引っ越し前日

メンバー(タカシ・コイコ・ヨウコ・スズミ)は移動用ケージに収容され、CSU最後の夜を過ごしました。

いよいよ引っ越し当日!



当園からは、担当飼育員と獣医が迎えに行きました。CSUスタッフが慣れた手つきでケージをトラックに積み込みます。



CSUスタッフも、幼い頃から世話をしてきたチンパンジーと、離れ離れになるので心なしか寂しそうです。



ひとしきり別れを惜しんだ後、6:48いよいよ京都まで長距離800kmを移動です。

移動中～



タカシは不安だったのか、少し暴れたものの、メスたちは悟ったかのように静かにトラックに揺られていました。



初めて乗るトラックに少し興奮したようで、途中九州で1回と、本州で2回トラックを止めて中の様子を見ました。

無事京都に到着!!

道路の渋滞もなく、予定より2時間早い17:30当園に到着しました。



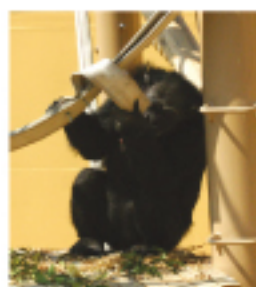
到着後、リニューアルしたチンパンジー室に搬入しました。

そして、現在では・・・ 京都の環境にも慣れ、4人がそれぞれの個性や能力を少しずつ発揮し始めています。



スズミは優れた身体能力で、タワーを素早く上り下りできます。また、コイコやヨウコにちょっかいを出して叱られています。

コイコは、根気よく蜜ツリをしたり、ホースの中のエサを捜しています。



タカシも、男としての自分の力を誇示することが、多く見られるようになりました。

ヨウコは、空腹なときは必死でエサを探しています。ただ、お腹が満たされるとゴロゴロしているので、果たしてダイエットの効果は・・・?



ZOOスポット 65

今回は、動物園勤務26年目の飼育員・伊藤二三夫さんにスポットをあててみました。

幼稚園の頃から生き物や虫が好きで、小学生の時には、動物園の飼育員になりたいと思っていました。

夢が叶い仕事を始めて最初に感じたのは、想像していたのと違い、飼育している動物を生かすために、他の動物の命を犠牲にしなければならないという現実でした。また、自分が担当している動物であっても、すべて思い通りにできるわけではなく、動物園としての考え方もあるので、もどかしさを感じました。

その後いくつかの動物を飼育していく中で、キリンの担当になったとき、自分では飼うことができないような動物を飼育できることが嬉しく、それだけでも満足なことなのに、それで給料がもらえるなんて・・・と思いました。

飼育の難しさを感じたのは、2頭のアカゲザルの子どもが怪我をしたため、人の手で育てた時でした。怪我も治り、元気になったので群れに戻そうとしたのですが、一度群れから離してしまうと仲間に戻すことが難しく、1頭しか戻すことができませんでし

た。しかしその1頭も、大人になってから骨の病気になってしまい、結局群れから離れて別のところで命を全うしました。この時のことは、今でも正しい判断だったのか自問することがあります。

この春から、新しく仲間入りしたチンパンジーの副担当になりました。昔とは違って人やパソコンとも関わって行く大変さはありませんが、新しいことが勉強にもなり、やりがいを感じています。自分のための動物園ではなく、お客さんが何度でも、足を運びたいと思える動物園になるよう頑張りたいと思っています。チンパンジーたちも私たち人と同じように、喜びを笑顔で表現することができるので、彼らが笑って暮らせるような環境を作りたいと思います。

そんな様子も、是非見に来てください。



飼育員のひと工夫！

飼育員が、動物たちや見に来ていただいているお客さんのために、いろんな工夫をしているのでのぞいてみましょう！

其の5

今回はリニューアルした、チンパンジーのグラウンドの紹介です。

『蜜ツリ』



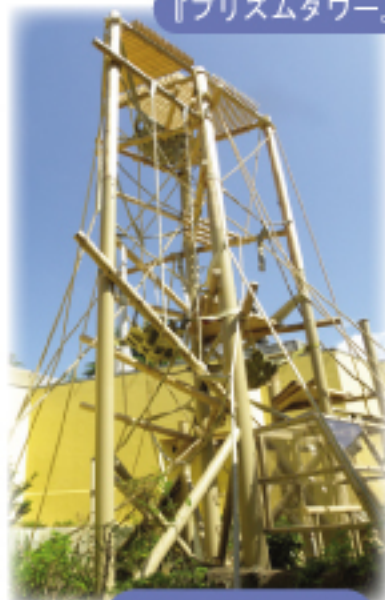
木の枝を使って、中に入れたハチ蜜を上手にあめるよ！

『サンルーム』



寒い季節、風をよけて、太陽の暖かい日差しで日向ぼっこ!!

『プリズムタワー』



高さはなんと9m!!
森に住むチンパンジー一番でっぺんまで平気で登っちゃうよ～

『ハンモック』



古くなった消防ホースで作った、飼育員お手製ハンモックです！

『アリ塚』



本物そっくり!!
アリの代わりにジュースやハチ蜜が入ってるよ！